

8月27日

保護者の皆さんへ

3年主任 森 俊幸

みなさんこんにちは。

今週から2学期が始まりました。夏休みは約3週間でしたが、学校としては短い夏休みを有効活用してもらえよう、色々提示させてもらいました。まず、3日からの1週間は午前中の補習を行いました。原則全員参加(本人からの申し出など、理由のある者は除く)で、したが、科目を選択しながらの受講でしたので、好評でした。

また、8月11日、自宅受験の模試を、教室を開放して、それぞれが受験するという方法を行いました。当たり前かもしれませんが、自宅より学校で受験した方が良いという声が多かったので、今月下旬の模試も、自宅受験のところを学校開放したいと思います。そして、夏休み期間中は平日、選択教室を8時半から19時まで、自習室として開放しました。席は多くの生徒で埋まっていて、自宅でなく学校で勉強したいという要望が高いようです。進路指導室で調べ物ついでにずっと勉強していた者もいました。以前、私が担任したある生徒が夏休み期間中、600時間や中には700時間学習することで、(学習内容の濃淡はわかりませんが)それが大きな自信になり、目標としていた大学へ合格することができました。我々もびっくりしましたが、自分がガムシャラに勉強したことが自信になり、志望校合格に繋がったと言っていました。今年は夏休みが短いですからここまで多くはできないと思いますが、夏休みは勉強をかなりやったぞ、と思えることが大切です。保護者会で進路担当が申し上げたように夏の努力がすぐ成果に繋がることはほとんどなさそうですが、本人たちの頑張りには確実に着実に力をつけています。生徒は自分自身のやってきたことを、保護者の方はお子さんの努力を信じてあげることが大切です。

部活動ではインターハイの代替大会や部内での3年生の送別大会などを行ったり、熊谷ラグビー場で歌い納めができた部活もありました。さらにはサッカー部やラグビー部などはこの後に最後の大会を控えています。熊高生としての頑張りを楽しんでいます。一方で、残念ながら代替大会もなく、発表会もなくなってしまった部活もあります。気持ちの切り替えが難しいと思いますが、この悔しさは学業の全国大会、大学入試にぶつけてほしいです。また近いうちに更新させていただきます。